

コイ（鯉）の餌やり

コイは胃を持たない「無胃魚（むいぎょ）」という特徴があり、一度にたくさん消化することができません。そのため、「適切な量を小分けにして与える」のが基本になります。

1 【重要】水温に合わせた与え方

コイは変温動物なので、水温によって活動量や消化能力がガラリと変わります。

水温の目安	与え方の目安	ポイント
20℃～25℃以上 (初夏～夏)	1日 2～4回	最もよく食べる時期です。数分で食べ尽くす量を与えます。
15℃～20℃ (春・秋)	1日 1～2回	少しずつ活動が鈍くなります。様子を見ながら控えめに。
10℃～15℃ (晩秋・初春)	数日に1回 または停止	消化能力が落ちるため、「胚芽入り」の優しい餌を少量だけ。
10℃以下 (冬)	原則、与えない	ほぼ冬眠状態です。餌をあげると消化不良で病気になる原因になります。

2 餌やりで気をつけること

(1) 5分で食べきる量が目安

餌を与えてから5分経っても残っている場合は、与えすぎです。

(2) おやつも大好物

コイは雑食性なので、市販の餌以外にも、茹でたうどん、パンの耳、スイカ、レタスなども好んで食べます（※ただし、これらも水の汚れの原因になりやすいので、たまのお楽しみ程度に）。

(3) 旅行などで数日留守にする場合

健康なコイであれば、夏場でも数日～1週間程度、冬場なら数ヶ月餌を食べなくても問題ありません。留守にするからといって、出かける前に大量に餌を与えるのは（水質悪化につながるため）絶対にNGです。

